

# 堂崎観音寺

第十五回

# 東路の風とともに

あづまじ  
東路の風とともに



2019年  
令和元年

10月16日(水)

午後6時30分より  
(8時過ぎ頃終演予定)

於:観音寺境内

(雨天の場合は本堂)

愛媛県宇和島市石応1351

Tel:0895-28-0051

国道56号線を松山方面より宇和島道路に入り、板島橋→トンネルを抜け、石応別当降り口にて降りる。信号を右折、分かれ道を左に進み、約5キロ。石応郵便局の先、右に入る。駐車場へ。

料金:1,000円 ※お席に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。

## 予定プログラム

### 【川村旭芳ソロ演奏】

◆「祇園精舎」平家物語原文より

◆平家物語外伝「堂崎観音堂悲話～宇和海落武者伝説～」

川村素子 作詞/川村旭芳 作曲(平成18年初演)

耳を澄ませば今もなお 梢をわたる風の音に 和して聞こゆる誦経の声…

観音寺に伝わる平家の落人伝説。一ノ谷・壇ノ浦・宇和島を結ぶ壮大な歴史ドラマ。

### 【久保比呂誌ソロ演奏】

◆津軽三味線「津軽じょんから節」「津軽あいや節」他

◆シンセサイザー「風の行方」他

### 【琵琶語りと三味線・シンセサイザーの共演】

◆「雪おんな」小泉八雲『怪談』より/川村素子 作詞/川村旭芳 作曲(平成15年作)

いつとも知れぬその昔 東路はるけき山あいに 巳之吉・茂作の木樵あり…

お馴染みの怪談を、津軽三味線&シンセサイザーの調べと共に聴き下さい。

## 演奏者プロフィール

かわむら きよほろ ちくぜんび わ

川村 旭芳 (筑前琵琶/語り)

<http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>

神戸市出身在住。

筑前琵琶日本旭会総師範 故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで八歳の頃、師に入門。

現在、筑前琵琶日本旭会 師範。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組み、

阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、母 川村素子の作詞による作品も発表。

NHK-FM「邦楽のひととき」出演。日本詩吟学院 兵庫中央岳風会 会員。

箏・尺八・胡弓などの演奏家四人で2004年に結成された和楽器ユニット「おとぎ」の代表を務め、

関西を拠点に、内子座、八千代座ほか全国の芝居小屋での公演も開催。

くほ ひろし

久保 比呂誌 (津軽三味線/キーボード)

神戸市出身。幼少の頃ピアノを始め、大学にて作曲科を専攻。作曲家・ピアニストとして活動する中、

ある時耳にした故初代高橋竹山師の「津軽じょんから節」に感銘を受け、津軽三味線奏者を志す。

1990年より、津軽三味線とピアノでの演奏活動を始め、国内はもとよりイタリア、ドイツでもコンサートを開催。

現在、作曲やCDプロデュースと共に、津軽三味線とピアノを演奏する異色のスタイルで活躍中。

演劇、ミュージカル、ダンス公演などの音楽制作も担当。CD「風の行方」「こもれば」をリリース。